今日もまた夢に近づく

柳田　正春（大学院5期生）

小学校の教師としてはや8年目を歩んでいます。

先日、教育実習生（歳の差10歳）の方と話をしながら、自分にもこんなときがあったなぁと、しばしの間、文教の学び舎を思い出していました。

倉田研究室で卒論・修論を書き、植田研究室でシャンヌ・ダルクの気分になり、河相研究室でモネになりきり、金好先生と風船になったり、新宅先生や神原先生と歌ったり踊ったり…。

その一方で、土日はほとんど午頭山のふもとで、仲間達と野外活動に夢中になっていました。

自分から広がる人と人とのネットワーク。そんな多くの出会いの中で、私は、いつも自分らしさと、可能性を広げることにこだわっていました。

それは、結婚し、二児の母となった今も変わっていません。おそらく、これからも変わることはないでしょう。

それが、我が子、そして、小学校で接する子ども達と共に日々成長していく私の生き方です。

親友がいつも言ってくれていました。「道は必ずつながっている」と。

今がんばっているそのことが、今涙しているその想いが、一つ一つ、未来の自分の夢や目標につながっているのです。

今年また、新しい職場で、新しい仲間と、新しい子ども達とcreativeなドラマを作っています。

そして、「今日もまた夢に近づく」

教え子たちとともに

心理療法士としての勤務

旨森　晴恵（大学院11期生）

現在私は、東広島市にある単科の精神病院に心理療法士として勤務しています。大学2年生の時に心理学を専攻し、臨床にたずさわりたいという思いから迷わず大学院に進みました。そして、大学院に入って2年目の春から現在勤務している病院に、週に1度実習生として通うことになりました。そのまま常勤のうちに縁があって、そのまま常勤として勤務することになったのです。この春でちょうど1年が経ちました。今思えば大学院のときには、なんとかして臨床に関っていたいという思いに突き動かされ、何事にも焦っていたように思います。

心理療法士としての主な業務は面接と心理検査です。この他にも病棟でのソーシャルスキルトレーニング、精神科デイケアなどにも関っています。主には医師からの依頼を受けて面接などを行うのですが、最近では単科の病院にも拘らず、自らカウンセリングを希望して来院される方も増えてきました。そのような中で、治療者としての私を求めてくる患者さんの期待に押しつぶされそうになったり、患者さんの人生に触れる怖さを感じたりするなど、右往左往しながらも充実した日々を送っています。

私の勤務する病院では、初めての心理療法士ということもあって、病院側も私もお互いに手探りですし、そのため苦労は尽きません。そのような私にとって一番大切なものは、先輩方や他の病院に勤めておられる心理療法士の方とのネットワークです。足りない知識を補ったり、技術的な指導を受けることはもちろん、それらの方々と話をすることは、何より自分自身の心の安定を保つために欠かせないものになっているように思います。まだ第一歩を踏み出したばかりですが、皆さんのお役に立てる心理士になれるように頑張っているところです。

初教の仲間からひとこと

（平成11年8月現在）

～「広島文教教育」の返信ハガキより～

（　　）は旧姓

幼教22期　江島　好美（中西）

毎日、1歳3か月の長男と楽しく忙しく過ごしています。「もう！」と怒りたい時もありますが、子どものニコニコ笑顔を見ると、ついこうちもニコニコと…。幼教で学んだ通りとはいかないのですが、子どもと一緒に成長していけるよう毎日がんばりたいです。

幼教24期　池田　亨加

現在は家業を手伝っています。幼児教育とはかかわっていませんが、姉の子どもにふりまわされています。

初教7期　諏訪　美江（石原）

平成11年に長女が誕生し、ただ今子育て奮闘中です。懐かしい先生方や級友の名前を楽しく拝見させてもらいました。「かわらばん創刊号」もよかったです！

初教8期　高藤　あゆみ（丸田）

愛知県へ嫁いで4年、やっと採用されて4年松組39人の子どもたちとがんばっています。が、自分の力のなさや県の違い、学校の違い等々を実感する日々です。気合を入れてがんばっていこうと思っています。

初教9期　黒田　珠央

5年目にしてやっと教職生活になれました。公私ともに落ちついているなと感じます。住んでいるところが、だんだん都になってくるものなのですね。

初教10期　楠瀬　麻子

今年は6年生11名を担当しています。卒業まで精一杯がんばろうと思います。ホームページ（学校）も開設していますので、ぜひごらんください。（http://www.edu.net-kochi.gr.jp/home/oosaki-e/）

初教11期　山田　恵

4月に移動になり、新しい職場でがんばっています。大学で学んだ学芸員資格が少しでも役に立つ職場です。毎日充実した日々を送っています。

初教12期　小原　朝子

この春から初めて3年生の学級担任をすることになりました。子どもたちにとって理科・社会・書写（毛筆）・リコーダーは初めてです。初めて同士なので、はりきってパワフルにがんばろうと思っています。初教のみなさん、ぜひ北海道の先生になりましょう！！いいですよ～。

初教13期　井元　真由美

タイの大学で日本語を教えています。学生は男女共とても可愛くて授業にも張りがよく楽しい毎日です。

初教14期　溝川　智子

保育園に勤めだして2年目です。最近暑さにまいっていますが、子どもたちの笑顔を励みにがんばっています。今は、0歳児担当です。大学にもまた遊びに行きたいと思っています。

〈取材レポート〉保育士になって

武末　綾（初教16期生）

今回は、保育士として活躍中の武末綾さんにお話をうかがいました。

武末さんは、在学中に保育士の資格を取得し、現在は広島市立可部東保育所に勤務し、おもに二歳児を担当されています。まずは、武末さんの保育士としての一日の流れについて聴って頂きました。

武末さんの一日

7:30　登園・自由遊び
・受付、健康観察、遊び

9:30　おやつ
・おもちゃの片付け
・手洗い援助、エプロン配付
・手遊び→おやつを配る

10:00　外遊び（園庭の場合保育室）
・紙芝居または絵本を読む
・排泄を促し、すんだ子どもに帽子を配り、準備ができたら外へ出る

11:00　手洗い・保育室へ
・手洗い・着替えの援助

11:15　昼食
・エプロン配付
・手遊び→昼食を配る

12:00　午睡の準備
・着替え、排泄の援助
・絵本や紙芝居を読む

12:30　午睡
・子ども達が安心して眠れるよう心がける
・保育日誌を書く
・保育についての話し合い

15:00　休憩

15:00　目覚め・おやつ
・排泄を促し、衣服を着るよう言う。手洗いを促し、おやつを食べるということを伝える
・エプロン、おやつを配る

15:30　自由遊び（保育室）
・一緒に遊ぶ

16:00　随時降園
・子ども達の降園確認

「むずかしい質問ですね。言葉がやっと話せるようになった子どもが名前を呼んでくれた時などですかね。うまく表現できないのですが、日々感動の連続で、感動があるから続けていける仕事だと思っています。」

―今後どのような保育士を目指していかれますか。

「子どもの気持ちがわかる、子どもの気持ちに添える保育士を目指したいと思っています。」

―長時間お話を聞かせていただき、ありがとうございました。お話をうかがっているなかで「感動があるから続けていける仕事」という武末さんの言葉が心に残りました。

武末さんの温かく、優しいお人柄を生かして、ますますご活躍なさることを祈っています。

（レポーターは14期生の金本でした。）

―では、具体的な質問に移りたいと思います。保育園の1日の流れをお聞きしていると、ほとんどが基本的な生活習慣の指導という感じがするのですが、個人差がある場合の対応はどのようにされているのでしょうか。

「はしの持ち方や着替えなど、どうしてもできない子がいる場合は、手助けすることもありますが、基本的には自分自身で考えさせ、自分でできるように見守っています。」

―なるほど、そのほか、子どもにかかわっていく際、どのようなことに注意されていますか。

「一番は、やはり遊ぶときの安全面ですね。あとは目線。これは叱るときほめるとき両方で大切になってきます。言葉が子どもの頭の上を通るようでは、子どもにうまく伝わりません。子どもの目線は大切にしています。」

―保育士になってよかったなと思えるときはどんなときでしょうか。